



部品レポートの カスタマイズ

概要

Tutorial
TU0104 (v1.0) January 14, 2004

このチュートリアルでは **Report Manager** を使って回路図エディタの部品表 (**Bill of Materials (BOM)**) をセットアップする方法を解説します。データの扱い方やエクセル形式での出力、バッチモードでの出力などが紹介されています。

パーツリスト (**Bill of Materials**、**BOM**) やクロスリファレンスレポート (**Component Cross Reference report**) などの部品レポートは **DXP** の **Report Manager** を使ってカスタマイズできます。これによりレポートが生成される際にソートやグループ化が行なえます。また、レポートはマイクロソフト社のエクセル形式やアドビ社アクロバットの **PDF** 形式など、エクセルのテンプレートに合わせた形式で出力することが可能です。バッチモードでは、出力設定ファイルで設定した形式でレポート出力することができます。

このチュートリアルでは **Report Manager** を使って回路図エディタの **Bill of Materials** をセットアップする方法を解説します。**BOM** レポートは **PCB** エディタでも作成が可能です。

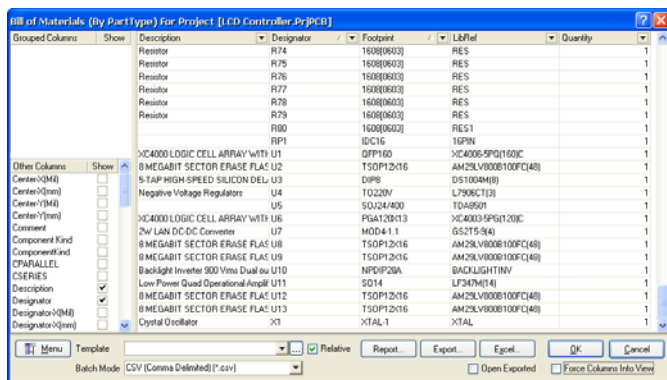
Altium2004\Examples\Reference Designs にあるサンプルプロジェクトのどれか (例えば、**4 Port Serial Interface project**) を使用して操作を行ってください。(チュートリアルでは **LCD Controller** を使用しています。) このチュートリアルで **Report Manager** ダイアログと呼んでいるダイアログは、実際にはレポートのタイプに拠って **Bill of Materials (by PartType) for <project_name>** など、ダイアログの名称が変わることがあるのでご注意ください。

BOM レポートの生成

回路図エディタで部品表を生成するには：

1. レポートを生成したいプロジェクトか、ドキュメントを開き、メニューから **Reports » Bill of Materials** を選択すると **Bill of Materials for project_name** ダイアログが開きます。

部品レポートのカスタマイズ



このダイアログは左側のカラムリストとレポートが表で表示されたデータセクションの2つのパートに分割されています。データセクションに表示されるカラムの種類は、レポート出力が実行された際のカラムリストの設定が有効になります。

2. カラムリストの **Show** オプションをチェックして表示させたいカラムを決定することで、BOM ファイルの作成とカスタマイズができます。

この様に、表示させる列のデータを変更することで、カスタマイズされた BOM ファイルを作成することができます。

Report Manager ダイアログの使用

Bill of Materials または Component Cross Reference レポートを作成する際には **Report Manager** ダイアログが開き、レポートのフォーマットを変えることができます。レポートの出力や印刷をする前に、コラムの表示/非表示や移動、ソートやフィルタをするなどの形式変更ができます。

カラムの操作

Report Manager ダイアログの左側には **Grouped Columns** と **Other Columns** の2つのセクションがあります。**Other Columns** セクションにはレポートに出力可能なカラムのリストが表示されています。これらのカラムの情報は、レポートが作成されるドキュメント（またはオープンされているプロジェクトのソースドキュメント）にある全てのコンポーネントのプロパティが元になっています。

カラムの表示

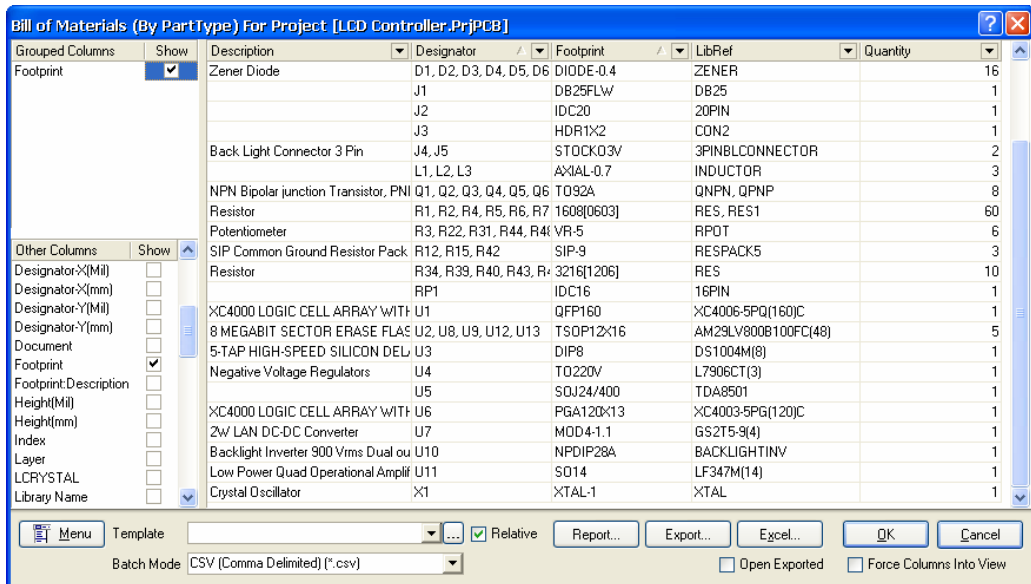
Report Manager のデータセクション内容を **Other Columns** から表示させるには：

1. 表示させたいカラムリストの横にある **Show** オプションをクリックすると、そのカラムがダイアログのメインのインフォメーションエリアに表示されます。
2. イネーブルにした各カラムは、ソースドキュメントに配置されているコンポーネントが持つ該当する情報を表示します。コンポーネントに表示すべき情報が特に無い場合は、そのフィールドはブランクとなります。

カラムのグループ化

一つ、またはそれ以上のカラムが持つ情報により、コンポーネントをグループ化することができます。例えば **Bill of Materials** レポートでフットプリントやコメント別にコンポーネントをグループ化する場合。

1. **Report Manager** ダイアログの **Other Columns** セクションにあるグループ化したいカラムの名称をクリックしてから **Grouped Columns** セクションまでドラッグします。
2. ドラッグしたカラムの名称が **Grouped Columns** セクションに表示され、表示されているデータがグループ化してアップデートされます。下の例では **Quantity** カラムが、グループ化に伴いアップデートされていることに注目してください。



3. 他のグループ化が必要なカラム名称を **Grouped Columns** にドラックアンドドロップします。
4. 例えば **LibRef** と **Comments** のカラムを **Grouped Columns** に追加した場合、グループごとのソーティングが可能になります。

全ての **RES** (**LibRef** カラム)内で、同一の定数(**Comment** カラム)と同一のフットプリント(**Footprint** カラム)を持つコンポーネントをグループ化してレポートするには、**Footprint**, **Comment** と **LibRef** のそれぞれのカラム名称を **Grouped Columns** カラム内までドラッグアンドドロップし、データのソーティングやフィルタリングによってカラムのそれぞれ境界線を設定することができます。

カラムのソーティング

ダイアログのデータセクションのカラム順序は、**Other Columns** セクションまたはデータセクション自身からでも変更することができます。データセクションのカラムの順序を変更するには、**Other Columns** セクション中でのカラムの順序を変更すると、すぐにデータセクションのカラムの順序に反映されます。

Other Columns セクションでカラムの順序を変更するには：

部品レポートのカスタマイズ

1. **Other Columns** セクションの列名をドラッグし、同じセクション内の希望する位置にドロップします。この操作を必要な列順序になるまで繰り返します。
2. データセクションの列表頭の順序が更新されます。例えば、列名 **Quantity** を **Other Columns** リストの先頭にドラッグし、**Show** オプションがチェックされていた場合、データセクションの先頭に **Quantity** 列が移動します。

直接データセクションで列の順序を変更するには：

1. データセクションの表題部分をクリックし、希望する位置までドラッグアンドドロップします。
2. 列の表題を移動中の時、移動可能な個所に緑色の上下の矢印が表示されることに注意してください。

Description	Footprint	De
Zener Diode	DIODE-0.4	D1
	DB25FLW	J1
	IDC20	J2
	HDR1X2	J3

表示している全ての列を **Report Manager** ダイアログ内に表示させる場合は、ダイアログ右下の **Force Columns into View** オプションをイネーブルにしてください。

コラム内データのソート

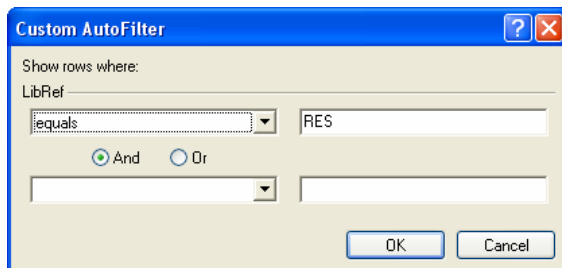
1. 列の表題部分（右にあるドロップダウン矢印から遠い部分）をクリックすると、昇順・降順が切り替わってソートされます。
2. 表題部分のクリックでのソートの操作は、すべての列の列の並びに影響を与えます。

列の幅が狭くて全ての情報が表示しきれない場合は、マウス右クリックして **Column Best Fit** [ショートカット **Ctrl+F**] を選択すると、列の幅が最も長いフィールドに合せて調整されます。

カスタム・フィルタリング

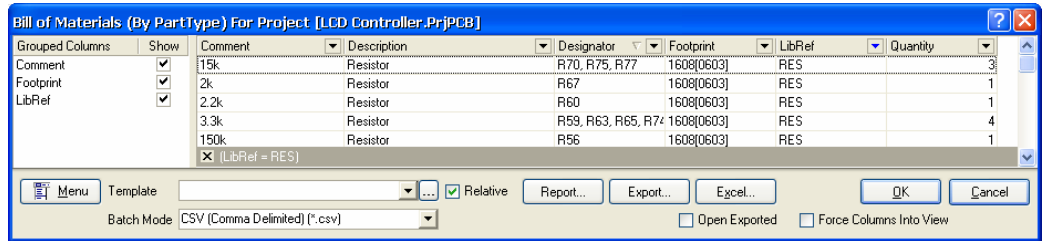
特定のコンポーネントのエントリを表示させるために、フィルタリングを適応させることができます。

1. 列表題右端の下向き矢印部分をクリックすると、列のエントリが選択できます。または **Custom** を選択 **Custom AutoFilter** ダイアログを表示させます。



2. このダイアログで、適応させたいフィルタを設定できます。上記の簡単な例では、**LibRef** セルの内容が **RES** に一致するコンポーネントのみを表示します。これで **OK** クリックします。

カスタマイズ・フィルタリングが適応されたカラムは、表題部分のドロップダウン・アローが青く表示されます。



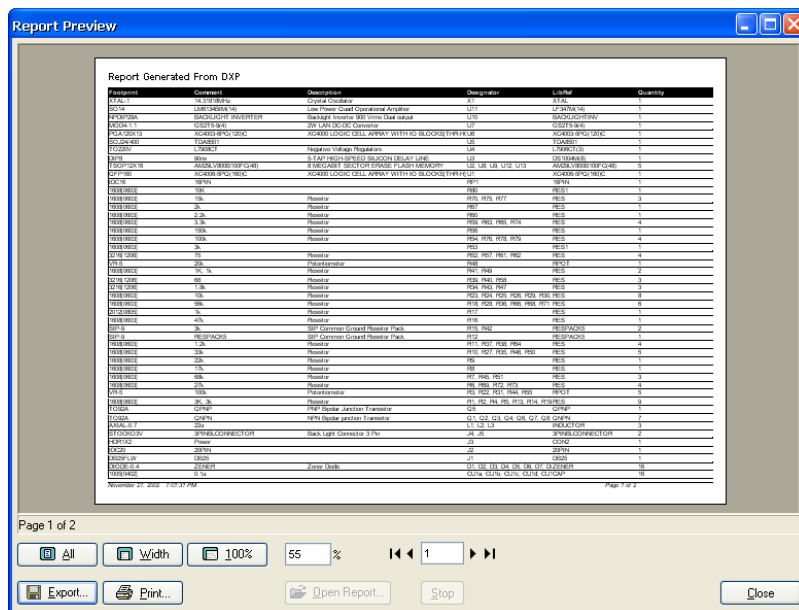
3. 現在適応されているフィルタは、上図の例 (LibRef = RES) の様にダイアログのデータセクション下部に表示されています。

適応されているフィルタをクリアするには、ダイアログ下側のフィルタ構文の横にあるチェックボックスのチェックを解除します。

レポート作成

Report コマンドは、現在のデータセクションの内容を出力するのに使用します。レポートの内容は *Report Preview* ダイアログに自動的にロードされ、ファイルのエクスポートや印刷する前にズームして確認することができます。

1. **Report** ボタンをクリックすると *Report Preview* ダイアログが開き、プリントプレビューが表示されます。



部品レポートのカスタマイズ

- このプレビューは、**Print** ボタンを押して印刷するか、**Export** ボタンを押してマイクロソフト・エクセルの形式 (.xls) などでエクスポートすることができます。エクスポート可能なファイル形式の一覧は下表のとおりです。

Microsoft Excel Worksheet (*.xls)	Quattro Pro Worksheet (*.wq1)
Web Page (*.htm; *.html)	Rich Text Format (RTF) (*.rtf)
Adobe PDF (*.pdf)	JPEG Image File (*.jpg)
Web Layer (CSS) (*.htm; *.html)	TIFF Image File (*.tif)
Window Bitmap File (*.bmp)	Lotus 123 Worksheet (*.wk1)

レポート出力

データセクションの一覧の内容は、*Report Manager* ダイアログ下部にある **Export** ボタンをクリックすることでもエクスポートが可能です。

Report Manager ダイアログの **Export** ボタンを使用して出力可能なファイル形式は下表のとおりです。

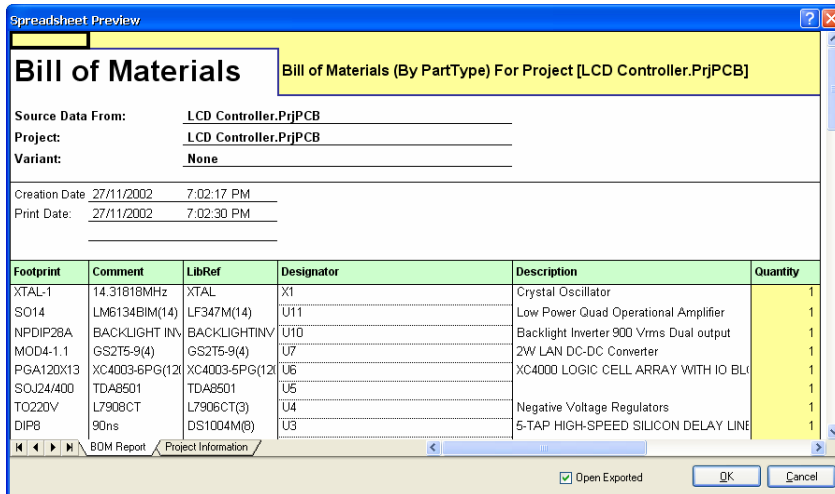
Microsoft Excel Worksheet (*.xls)	Web Page (*.htm; *.html)
XML Spreadsheet (*.xml)	CSV (Comma Delimited) (*.csv)
Tab Delimited Text (*.txt)	

- 関連付けられたアプリケーションを起動したい場合、例えばマイクロソフト・エクセルの形式でセーブされたファイルをエクセルで直ぐに開くには、*Report Manager* ダイアログ下部の **Open Exported** をチェックしておきます。
- Report Manager* ダイアログの **Export** ボタンをクリックし目的のファイル形式でセーブします。

エクセル・テンプレートの使用

エクセルのテンプレートに直接データをエクスポートする場合、作成済みのテンプレートを選択するか、用意されているデフォルトのテンプレートが使用できます。

- Report Manager* ダイアログの **Template** フィールドにテンプレートファイル名を入力するか、ドロップダウンリストから BOM Default Template.XLT を選択するか、またはブラウザからテンプレートファイル(.XLT)を選択します。このファイルは相対または絶対パスで指定します。テンプレート作成の詳しい解説は、マイクロソフト・エクセルのマニュアルをご参照ください。
- Report Manager* ダイアログの **Open Exported** オプションが選択された状態の場合、エクスポート後にエクセルが起動します。
- Excel** ボタンをクリックすると *Spreadsheet Preview* ダイアログが開きます。
- Spreadsheet Preview* ダイアログの **OK** ボタンをクリックすると、エクセル・テンプレートで整形されたレポートがエクセルで表示されます。



バッチモードの使用

Report Manager ダイアログの **Batch Mode** フィールドでは、出力設定ファイル(*.OutJob)に記載された内容でのレポート生成が可能です。この出力設定ファイルは **File » New » Output Job File** コマンドで作成することができます。

更新履歴

Date	Version No.	Revision
14-Jan-2004	1.0	New product release

Software, documentation and related materials:

Copyright © 2004 Altium Limited.

All rights reserved. Unauthorized duplication, in whole or part, of this document by any means, mechanical or electronic, including translation into another language, except for brief excerpts in published reviews, is prohibited without the express written permission of Altium Limited. Unauthorized duplication of this work may also be prohibited by local statute. Violators may be subject to both criminal and civil penalties, including fines and/or imprisonment. Altium, DXP, Design Explorer, nVisage, Nexar, Protel, P-CAD, Tasking, CAMtastic, Situs and Topological Autorouting and their respective logos are trademarks or registered trademarks of Altium Limited. All other registered or unregistered trademarks referenced herein are the property of their respective owners and no trademark rights to the same are claimed.